

2026 年 9 月 1 日

各位

会 社 名 株式会社カナミックネットワーク
代表者名 代表取締役社長 山本 拓真
(コード番号：3939 東証プライム市場)

24 時間 365 日働く“AI ロボ社員”

「カナミックかんたん AI ロボシリーズ」 + 「FDE サービス」を発表

— 第一弾は「介護事務 AI ロボ」「経理 AI ロボ」。退職なし・報連相を欠かさない“頼れる相棒”—

医療・介護向けクラウドサービスを提供する株式会社カナミックネットワーク(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山本拓真、以下「当社」)は、介護事業所の事務業務を AI が丸ごと実行し、人間は「承認」だけを行う新シリーズ「カナミックかんたん AI ロボシリーズ」を発表しました。第一弾として、請求業務を担う「介護事務 AI ロボ」、経理業務を担う「経理 AI ロボ」を提供開始します。本シリーズ最大の特長として、雇ったロボ社員全員の働きぶりを 1 画面で管理できる「AI エージェントコントロールダッシュボード」を標準搭載。さらに、グループ会社 Ruby 開発の専門エンジニアが FDE(現場密着型の AI 開発エンジニア)として貴社の現場に入り込み、独自のローカルルールに対応した専用 AI エージェントの開発・組み込みまで伴走します。



■ 背景：介護現場の「もう一つの人手不足」——事務

介護業界の人手不足は、介護職だけの問題ではありません。請求・加算・労務・経理といった事務業務への負担は大きく、管理者の残業や「事務員さんが辞めたら請求が止まる」という属人化リスクの温床になっています。さらに 2026 年 6 月の処遇改善加算の再編により、計画書・実績報告などの事務は業界全体で増加しています。

当社は約 25 年にわたり約 58,000 事業所を支えてきたクラウド基盤の上に、事務業務そのものを実行する AI を載せることで、この課題に「事務員を増やす」のではなく「AI ロボを雇う」という新しい答えを提案します。



■ 「カナミックかんたん AI ロボシリーズ」とは——

AI を“導入”するのではなく、人の代わりに“雇用”するイメージです

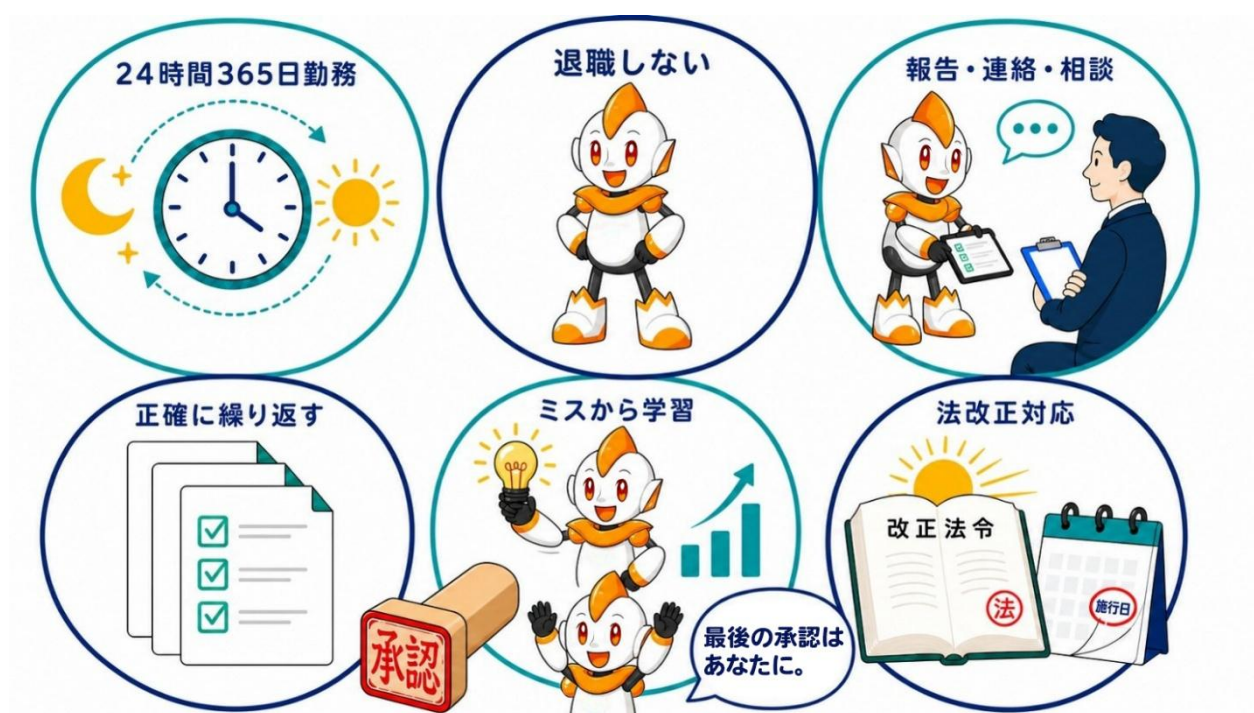
本シリーズは、介護事業所の事務業務を実行する AI エージェント群を、「ロボット社員の雇用」というわかりやすいかたちで提供するサービスです。製品カタログは「履歴書」、導入は「入社」。難しい AI の知識は一切不要で、“雇った”その日から働き始めます。



AI ロボ社員・6 つのお約束

1. **24 時間 365 日働きます。** 月初の請求ピークも、夜間も休日も、決められた業務を続けます。AI ロボには残業という概念がありません。
2. **退職しません。** 採用難・引き継ぎ・退職リスクとは無縁。求人広告も不要です。
3. **報告・連絡・相談を確実にします。** わからないことを勝手に進めません。判断に迷えば必ず人間に確認します。
4. **教えられたことは、繰り返しずっと確実に行います。** 一度覚えた業務は忘れず、手順を省略しません。
5. **ミスから学習します。** 一度指摘された誤りは繰り返さないよう学習し精度を高め続けます。
6. **制度改定の朝には勉強済み。** 介護報酬改定・様式変更にも速やかに対応します。

ただし、大切な「弱点」がひとつ——**承認ハンコは押せません。** 請求の伝送も支払も、経理の確定も、最終承認は必ず人間が行います。主役はあくまで、経営者と現場のみなさまです。



■ 人間の仕事は、パソコンで「承認」だけ

AI ロボが処理した業務は、「承認センター」にわかりやすく整理されて届きます。管理者はパソコンから請求承認・給与承認・支払承認などの承認ゲートを確認・承認するだけ。定常的な事務にかかる人の時間は月 1～2 時間程度（当社モデル試算・現場実測前）を目指します。

■ 目玉機能：「AI エージェントコントロールダッシュボード」を標準搭載

本シリーズ最大の目玉は、雇った AI ロボ社員の仕事状況を 1 つの画面でマネジメントできる「AI エージェントコントロールダッシュボード」です。人間の社員に朝礼や日報があるように、AI ロボにも“見える化”を。経営者・管理者はスマートフォンやパソコンひとつで、会社で働く AI 全員の「今日の仕事の進捗状況」を掌握できます。

1. **働きぶりが、見える。** 今日誰（どのロボ）が・何件処理し・何が承認待ちか。各ロボの仕事量と成果をリアルタイムに一覧表示します。
2. **理由まで、遡れる。** 全処理に「なぜそう処理したか」の根拠を記録。気になった 1 件はワンタップで履歴まで遡れ、実地指導・監査にもそのまま使えます。

3. 任せる範囲を、手元で調整。 ロボごとに任せる業務を段階的に選択できます。決定権は常に人間側にあります。

「AI はブラックボックスで怖い」——その常識を、このダッシュボードが終わらせます。見えるから、任せられる。

The screenshot shows a dashboard titled 'かんたん介護AI' with a sidebar menu including Home, Tasks, Documents, Document Processing, Requests, Sales/Accounting, Incomes/Payments, Settings, and AI. The main area is '書類の取込' (Document Upload) with a 'Driveを開く' button. It displays status cards for '要確認' (2 items), '保留' (0 items), '取込み中' (0 items), '取り込み失敗' (2 items), and '取り込み済み' (5 items). Below are filters for '事業種別', '書類種別', 'ファイル名', '受領日(開始)', and '受領日(終了)'. A table lists document processing records with columns for '処理内容', '書類種別', '受領日', 'AI抽出', '結果', and '受領日時'. Two records are shown: one for a request form (2026/8/25) and one for a receipt (2026/8/4). A friendly robot character stands on the right, with a speech bubble saying 'AIが書類を自動で仕分け！確認作業をもっとラクに！'.

介護事業者の事務業務を、AIでスマートに

- 自動仕分けで確認時間を削減
- 書類を見える化し業務を効率化
- 大切なデータを安全に管理

■ 御社だけの業務をしてくれる AI エージェントも、“機能追加”できます——FDE が現場に行って個社カスタマイズ

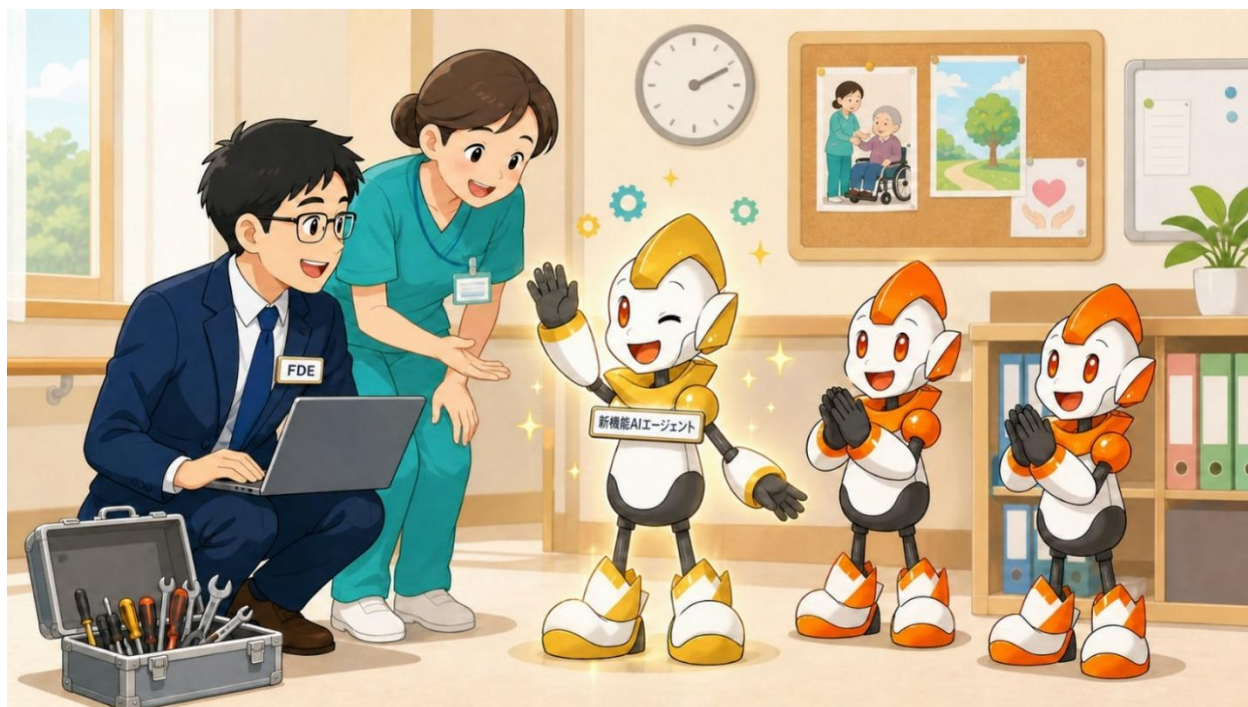
「FDE エンジニアが、御社に行って専用業務の AI エージェントを追加します。」

標準ロボではカバーしきれない、御社ならではの業務手順・帳票・ローカルルール。そこには、カナミックとグループ会社 Ruby 開発のエンジニアが FDE（フォワード・デプロイド・エンジニア＝現場密着型の AI 開発エンジニア）として対応します。FDE は、米国の先端 AI 企業が成果を上げている開発スタイル。エンジニアが会議室で要件定義書を待つのではなく、御社の現場に入り込み、現場の「困った」をその場で見つけて、御社専用の AI エージェントに仕立てて配属します。

- ・ **現場で作る**：業務を実際に見ながら設計するから、「作ったのに使えない」が起きません。
- ・ **介護×開発の混成チーム**：介護業務とクラウドを知り尽くしたカナミックと、システム開発の Ruby 開発。二社のエンジニアが御社専用の『AI ロボ開発×育成』を行います。

- ・ **同じダッシュボードに配属**：完成した御社専用ロボは、標準ロボと同じ AI エージェントコントロールダッシュボードに並び、同じ承認・監督のもとで働きます。

既製品を買って終わり、ではありません。御社の業務に合わせてロボ社員を採用し、育て、増やしていく——それが本シリーズの雇用スタイルです。



■ 今後の展開：新しい仲間が、続々“入社”予定

労務・給与 AI ロボ、窓口対応 AI ロボ、経営分析 AI ロボなど、介護事業所の運営を支える新しい AI ロボ社員が順次リリース予定です。カナミックは将来的に、事業所の状況に合わせて必要なロボを選んで雇える「AI ロボ社員カタログ」への拡張を構想しています。



■ 提供開始・お申込みについて

- ・ 詳しくは、「カナミックかんたん AI ロボシリーズ」のホームページからご覧ください。

<https://www.kanamic.net/lp/care/018-ai-robo/index.html>

■ 社長コメント（代表取締役社長 山本拓真）

「介護の現場で本当に足りないのは、書類を作る手ではなく、利用者さんと向き合う時間です。当社は 25 年間、医療と介護の連携をクラウドで支えてきました。そのクラウド基盤の上で働く AI ロボ社員は、雇ったその日から辞めずに働き続け、報連相を欠かしません。『AI ロボを雇って、介護の事務を削減し、ご利用者様と向き合う時間を最大限に増やす』——そんな選択肢を、すべての介護事業所に届けます。」

■ 会社概要

社 名： 株式会社カナミックネットワーク（東証プライム上場：3939）
本社所在地： 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31 階
代 表 者： 山本拓真
設 立： 2000 年 10 月

■ 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社カナミックネットワーク 管理部

所在地 〒150-6031

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31 階

T E L 03-5798-3955 F A X 050-3537-1207

※ 記載の作業時間・効果は当社モデル試算であり、事業所の規模・体制・導入範囲により異なります。

※ 「カナミックかんたん AI ロボシリーズ」は名称・仕様・提供時期を予告なく変更する場合があります。

※ 本プレスリリースのロボットはイメージであり、実際に物理的なロボットを販売はしておりません。あくまでクラウドサービス上で動く「AI エージェント群」を「AI ロボ」と呼称しております。

※ 経理 AI ロボは、介護事業者に限らずどんな業種の企業でもご利用になれます。